

資料（東北地方整備局小名浜港湾事務所）
第1回小名浜港東港地区臨港道路
維持管理技術検討委員会（平成27年10月22日）

小名浜港東港地区臨港道路整の歩み

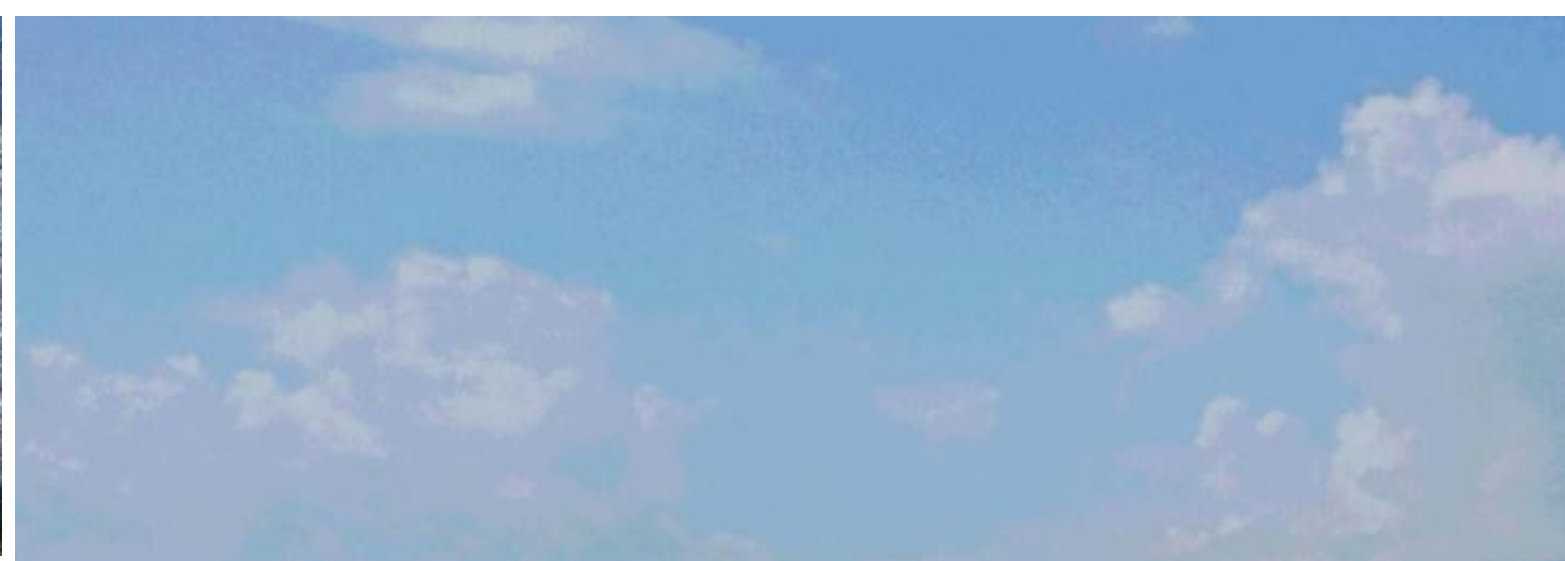
エネルギー輸入拠点へのアクセス・小名浜港のランドマーク



20100918

整備前

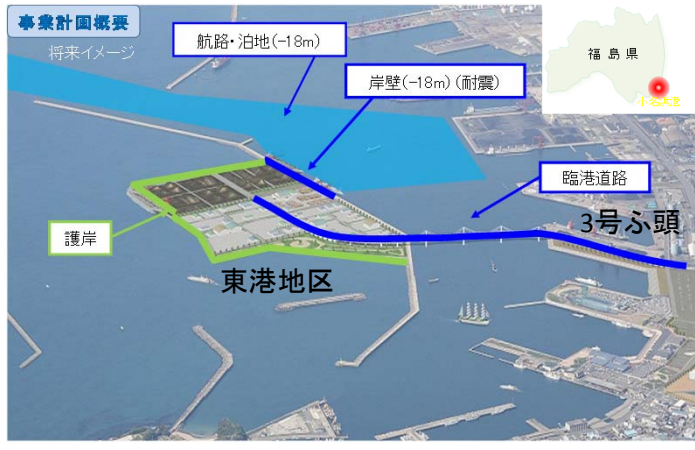




進捗状況 (20150815撮影)

【決定した橋梁デザインコンセプト】

小名浜港の環境に調和した新たなランドマークとして 眺望や利用を通じて愛着が感じられる橋



国内最大規模の石炭輸入拠点へ(小名浜港国際物流ターミナル整備事業概要)

- 近年需要が増加する石炭などの調達・輸送機能の強化を目的に、国際物流ターミナル整備事業を小名浜港で進めている。
- 臨港道路は、人工島(東港地区)と陸上(3号ふ頭)を唯一連絡する道路として整備している。



計画平面・断面図

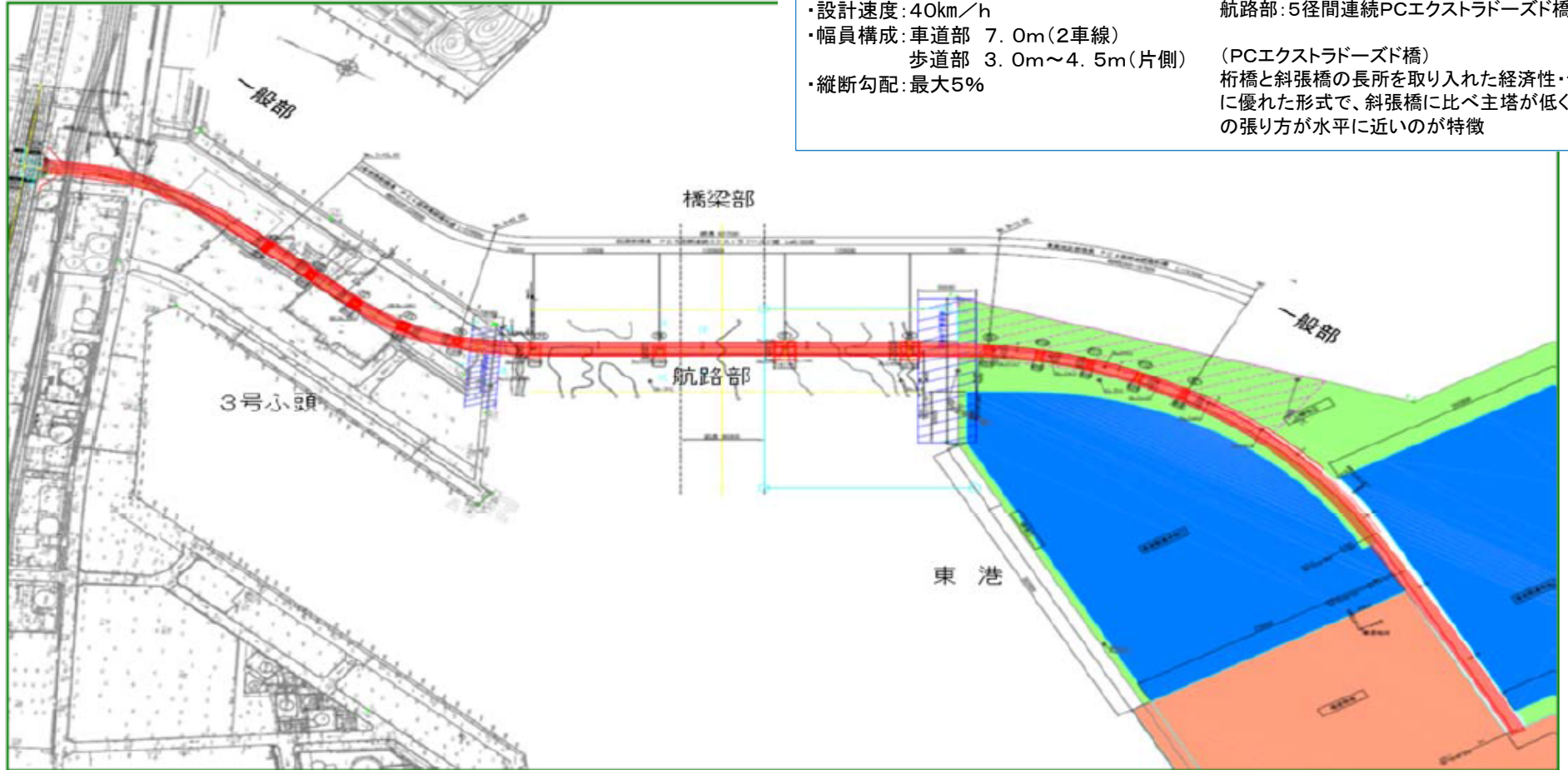
構造緒元

- ・道路延長: 1, 805m(橋梁延長: 927m)
- ・道路規格: 第4種第2級
- ・設計速度: 40km/h
- ・幅員構成: 車道部 7.0m(2車線)
歩道部 3.0m~4.5m(片側)
- ・縦断勾配: 最大5%

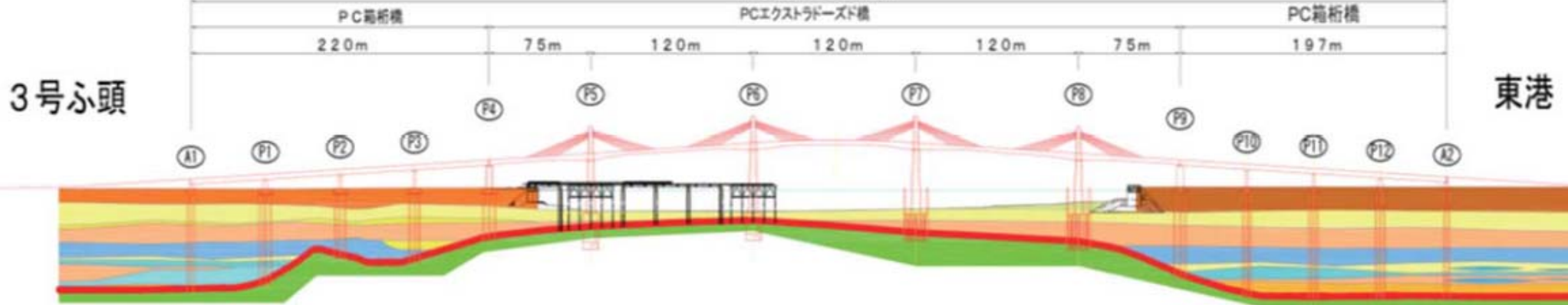
【橋梁構造】

- 3号ふ頭部: 4径間連続PC箱桁橋(220m)
- 東港部: 4径間連続PC箱桁橋(197m)
- 航路部: 5径間連続PCエクストラード橋(510m)

(PCエクストラード橋)
桁橋と斜張橋の長所を取り入れた経済性・デザイン性に優れた形式で、斜張橋に比べ主塔が低く、ケーブルの張り方が水平に近いのが特徴



橋長 927m



平成21年度 工事本格着手に向けて仮設棧台を設置

20100810



20100806



20110304



20100906



20101015



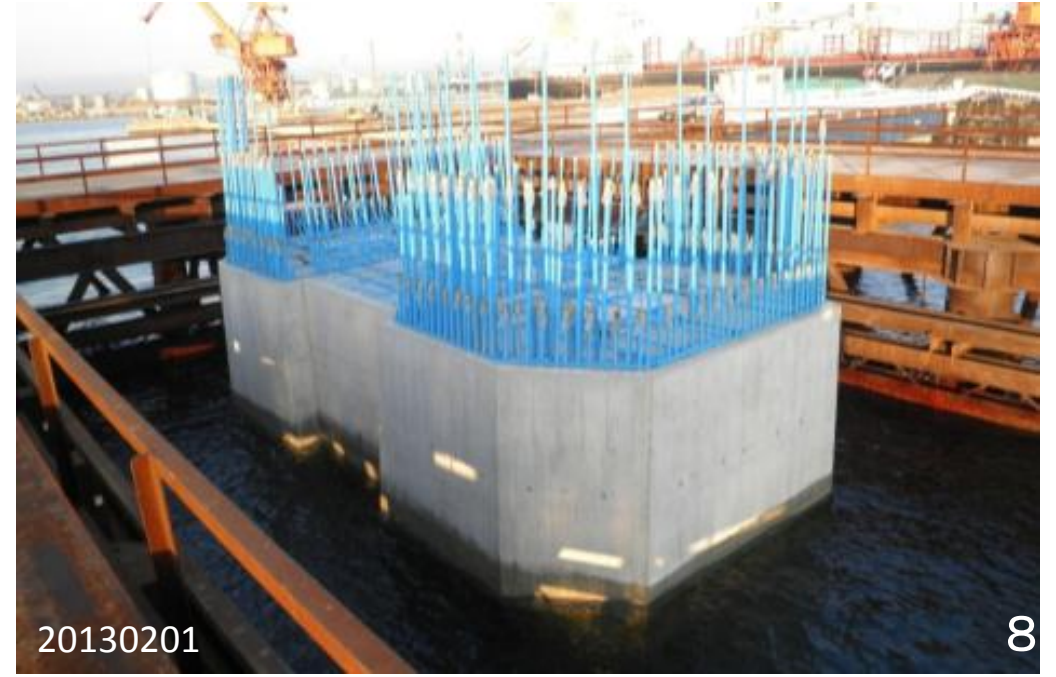
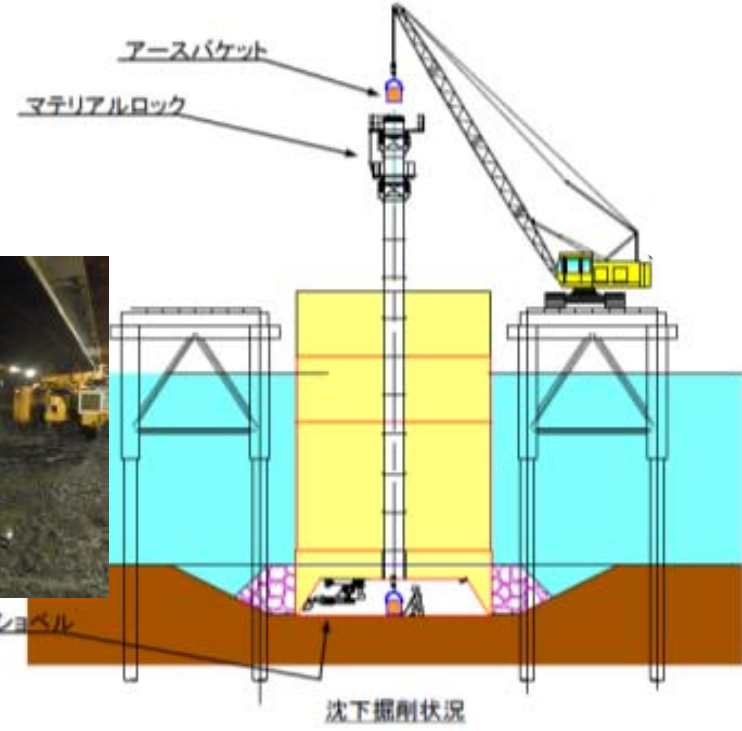
平成 2 2 年度 3 号ふ頭を地盤改良



平成22年度 3号ふ頭下部工事 (P1~P4) 場所打ちコンクリート基礎杭



平成22年度 航路部下部工事 (P5~P6) ニュ-マツケ-ツ基礎



平成22年度 航路部下部工事 (P7~P8) 鋼管井筒矢板基礎



東日本大震災による橋梁工事の被災

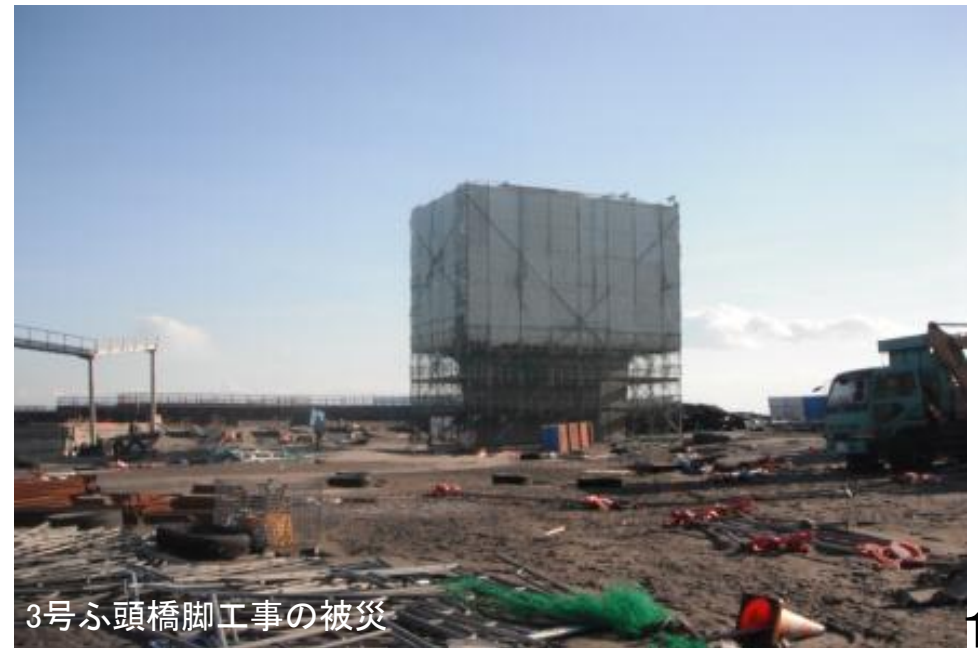
P4橋脚 橋脚周辺 液状化による沈下（約1.0m）



津波による作業船の乗り上げ



津波による作業船の乗り上げ



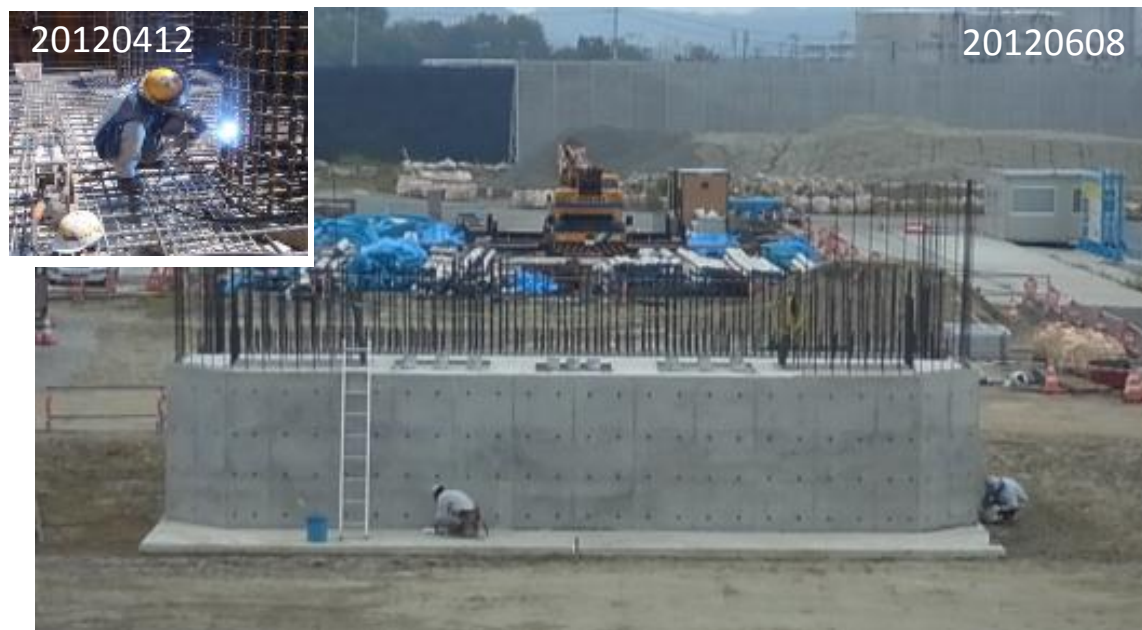
3号ふ頭橋脚工事の被災

平成 2 3 年度

3号ふ頭RC橋台工事 (P1~P4橋脚 変位制限ブロック)

3号ふ頭橋台工事 (A1) 場所打ち杭・逆T式橋台

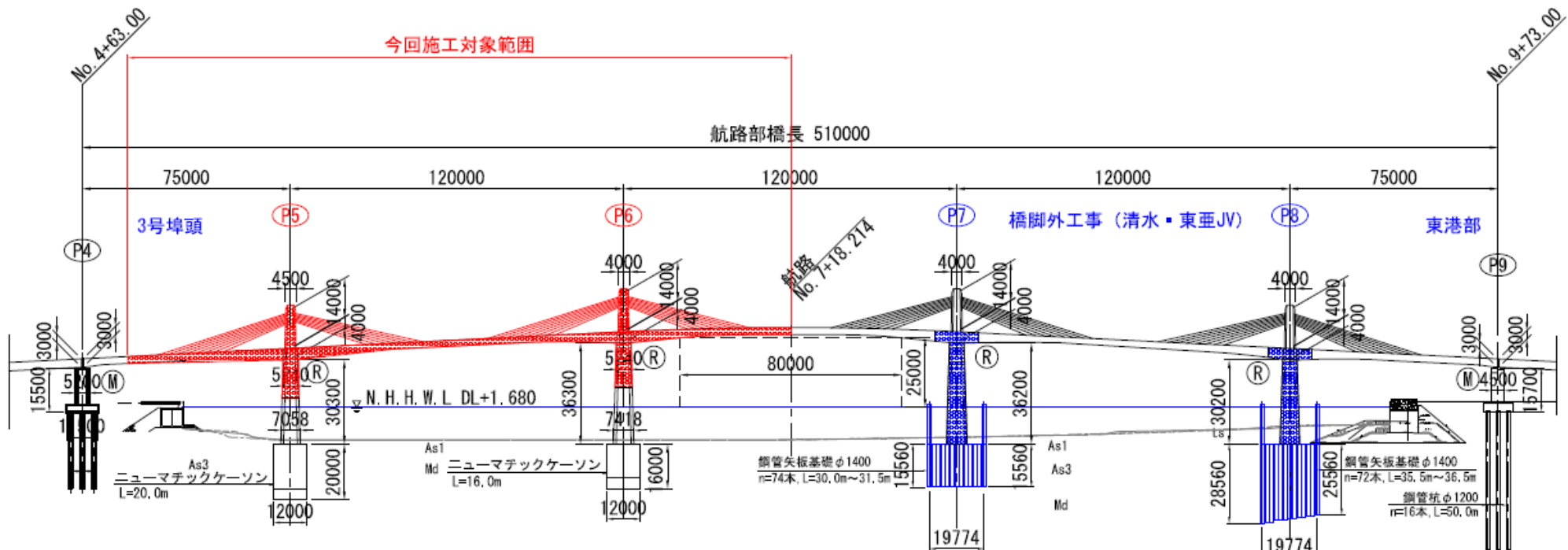
3号ふ頭上部工事 (PC 4径間連続箱桁橋 (固定支保))



平成23年度 東港部（人工島）を地盤改良



平成23年度 航路部上部工事 (P5~P6)



平成24年度 3号ふ頭擁壁工事



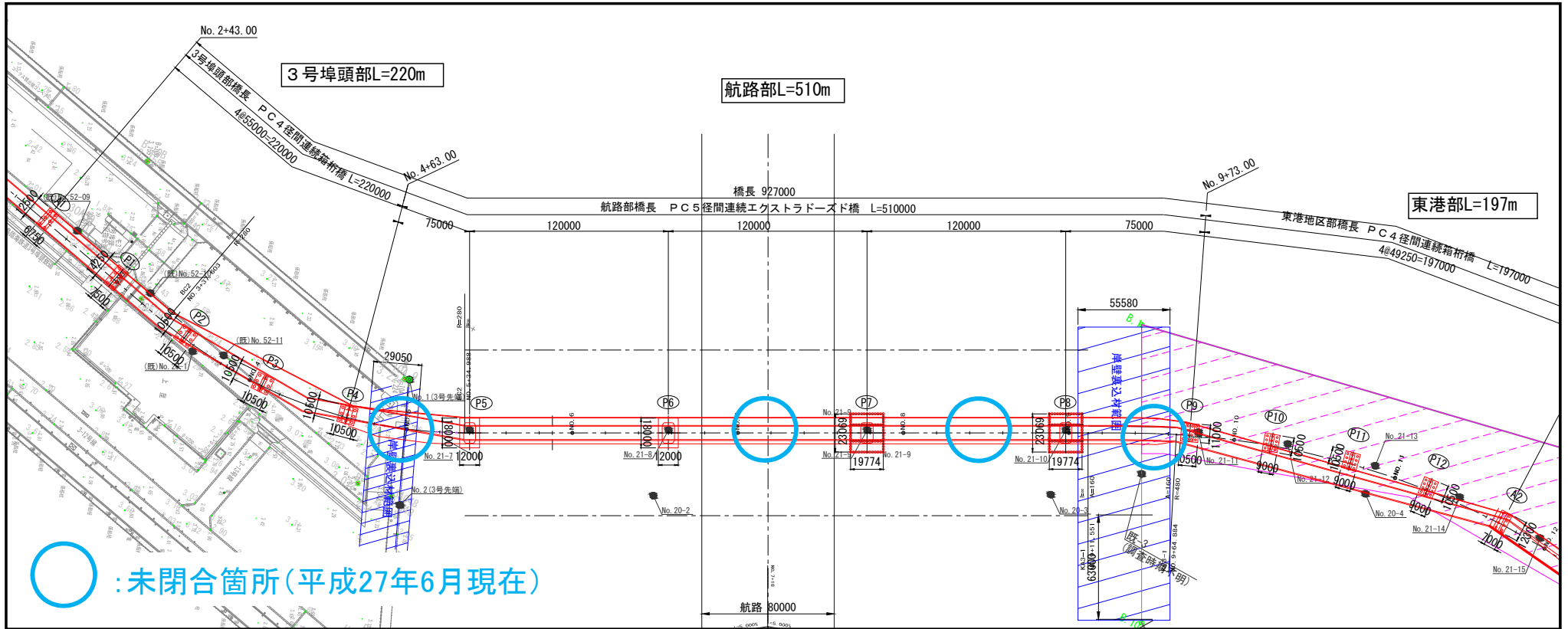
平成24年度 東港部（人工島）下部工事



平成25年度 東港部 (人工島) 上部工事



臨港道路進捗状況 航路部上部工事 (P7~P8) を整備中



現場を支える技術を駆使し、これから施工の最盛期を迎えます。



臨港道路では国内初のエクストラ-ズド橋で石炭輸入拠点を結びます。



**移動作業車を用いて橋脚上から左右対称に
「やじろべえ」のように桁を張り出します。**



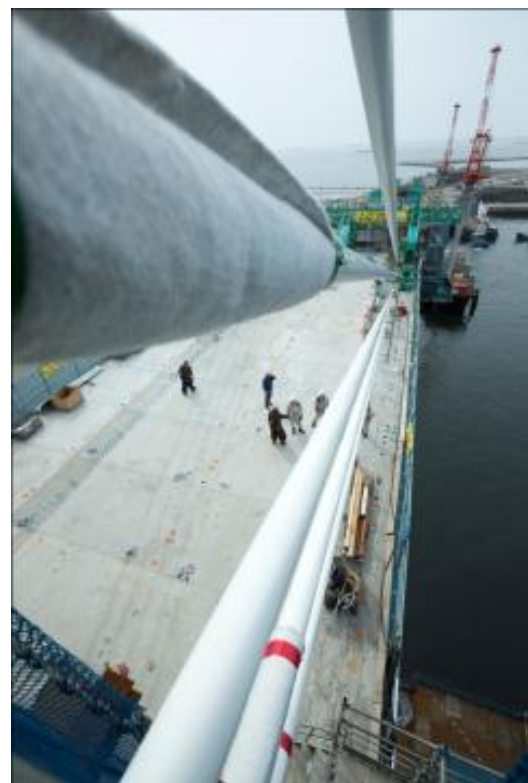
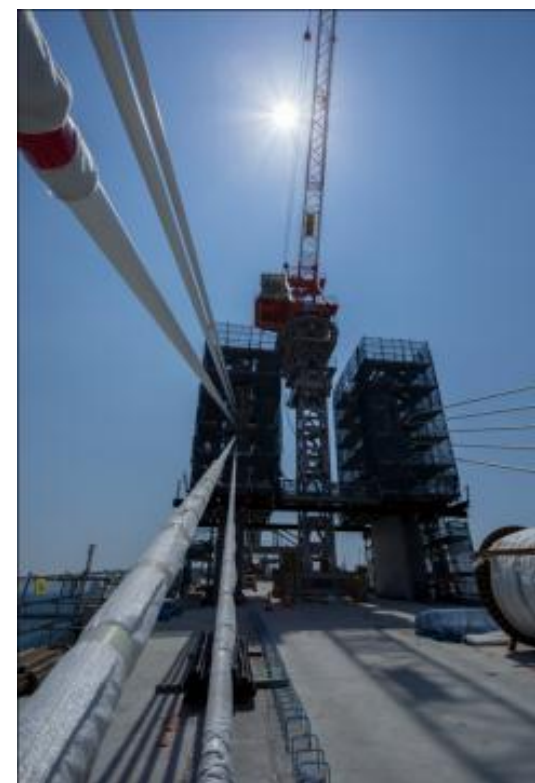
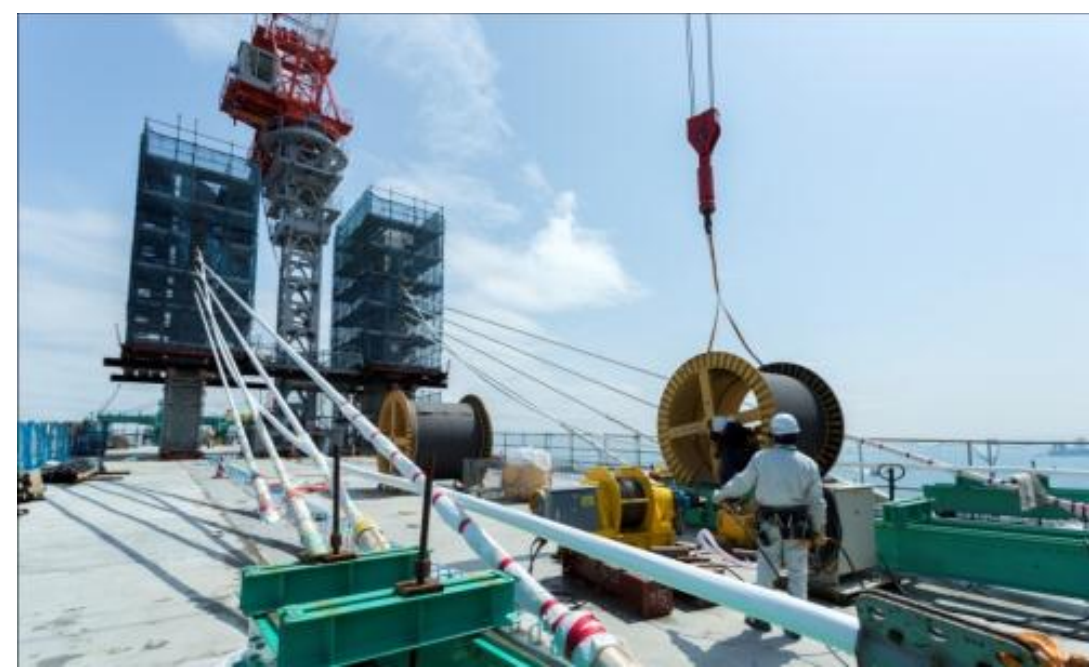
資機材は全て船舶や台船を使って搬入します。



**塔から張られているケーブルは防食材で被覆され、
1本あたり約300tの張力で桁を支えます。**



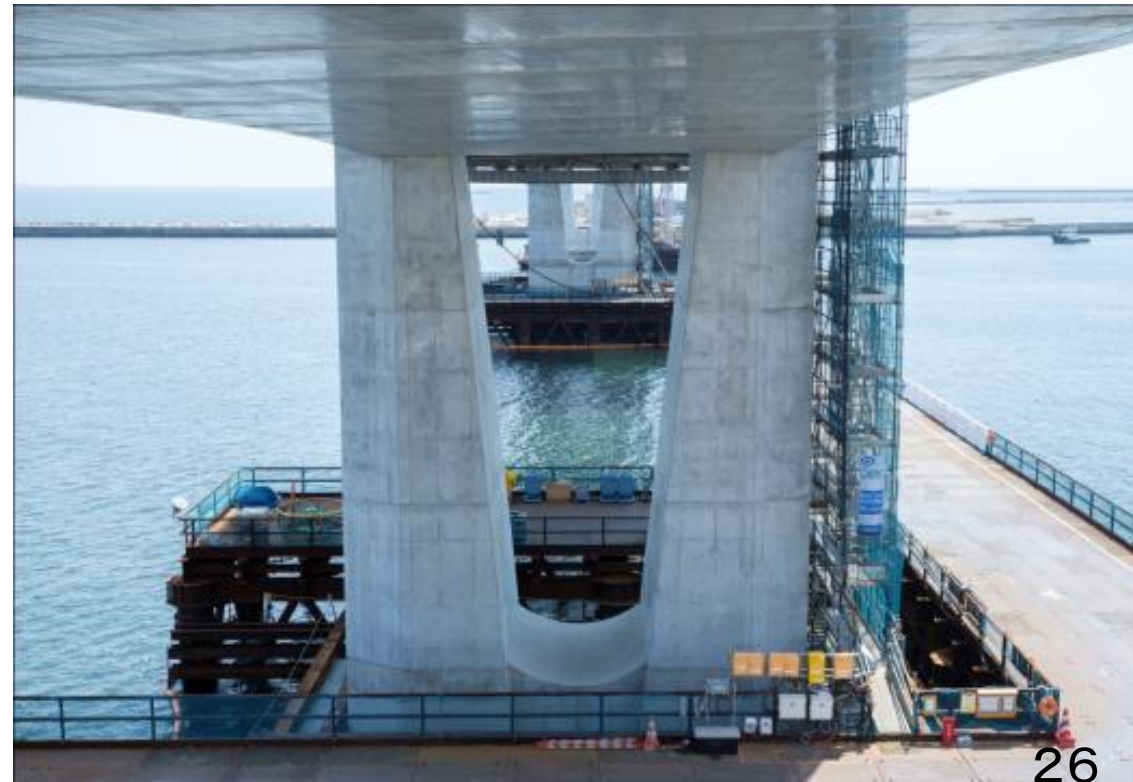
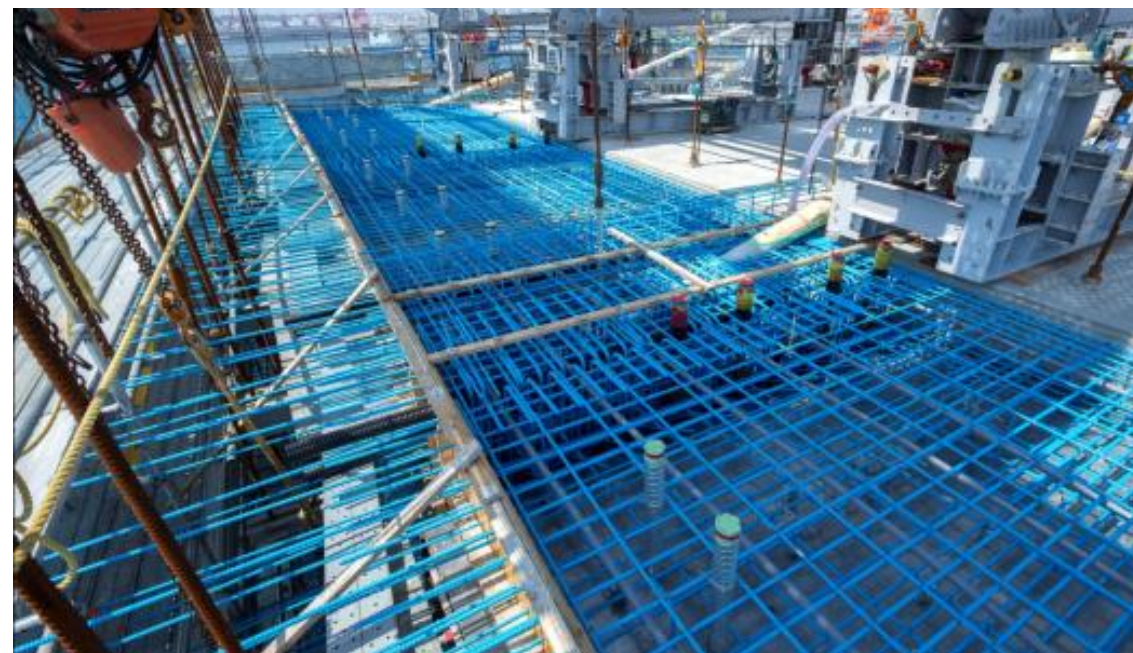
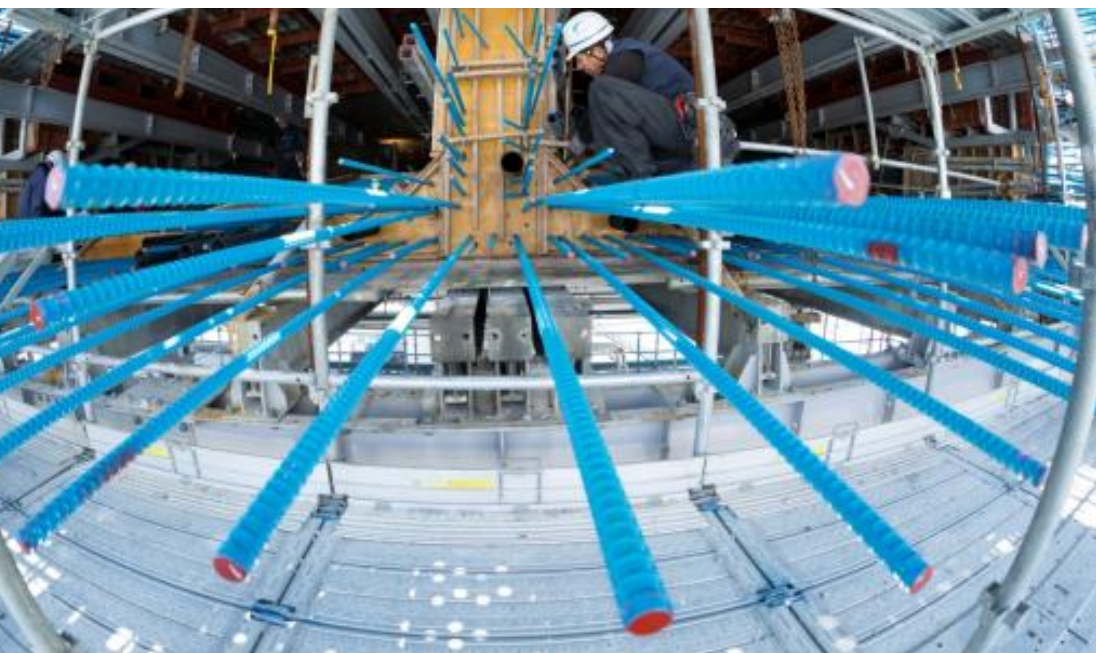
景観に配慮して採用された白色ケーブルを傷つけないように架設します。



鉄筋にはエポキシ樹脂を塗って防錆処理しています。

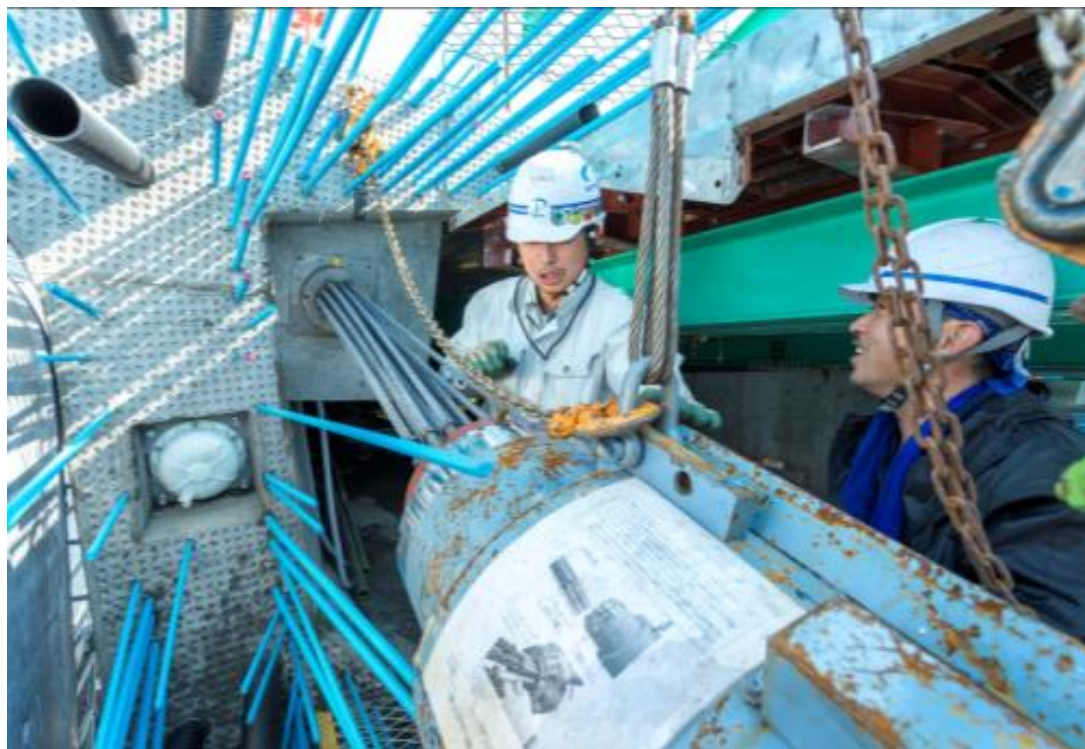


青いエポキシ樹脂塗装が施された鉄筋は、橋梁の長期耐久性を高めます。



美しい橋を造るために、品質・出来映えに細心の注意を払っています。







橋りょうの一部を特別公開

小名浜港
湾事務所

3号ふ頭側の250メートル開放

29年の完成を目指して工事が進められている、小名浜港3号ふ頭から東港区に架かる橋りょう（臨港道路）の一部が26日、初めて一般に開放された。同所はソウル条約で立ち入りが制限されている場所だが、港の特徴や役割を周知しようと、国交省東北地方整備局小名浜港湾事務所が25、26日に1、2号ふ頭間のアクアマリンパークで開催された「おなはま海遊祭」に合わせて特別に開放。家族連れを中心に多くの行楽客が訪れ、橋りょうから見渡す景色を楽しみながら、小名浜港への理解を深めていた。

同事務所によると、全「ズド橋」を採用。アーチの形状など外観の美しい唯一となる石炭の国際バルク戦略港湾に選定される、つり橋とけた橋の中間の構造「エクストラード」という。

小名浜港は東日本では唯一となる石炭の国際バルク戦略港湾に選定される

工事中の橋りょうで行われた見学会



落書きを楽しむ子どもたち

ており、東港区の一部供用開始（31年を目標）後、港区東側には緑地帯が計画され、当初は一般の立ち入りも予定していたが、津波など大災害が発生した場合の避難誘導上の課題、さらに大規模な災害が発生した場合は、同所は3号ふ頭側の一部250メートルほどを開放。同事務所の木本仁所長をはじめ職員たちが説明、案内役を務め、橋りょうの構造をはじめ、東日本における石炭などバルク貨物の輸入拠点港として今後ますます発展が期待される小名浜港、東港区の役割や特徴を来場者に紹介した。

地上約15メートルの新たな視点から眺める港、小名浜一円の景観に感動し、記念撮影を重ねる参加者の姿が多くみられたほか、橋りょう

の一部では小学生以下を対象にした落書きコーナーも設けられ、子どもたちは記念にさまざまな絵を描き、夏休みの大切な思い出をつくっていた。今回の形式の見学会は今後の予定は未定だが、同事務所では要望があれば受け付けている。希望者

は同事務所企画調整課
電話（53）714211まで。